



亀っ子だより

第7号

— 亀崎小学校 校長通信 —

2019年7月9日

7月2日の現職教育で感じたこと

手前味噌な話で恐縮ですが、お許しください。

7月2日（火）、刈谷市の元小学校長で桜花学園の客員教授も務められた杉浦 渉先生に指導をいただくために、1年2組の新美朱里先生が研究授業を行いました。「人がすっぽりと入ってしまうほどの大きなシャボン玉を作りたい」「たくさんの小さなシャボン玉を作りたい」「虹色のシャボン玉を作りたい」など、自分の思いや願いをかなえるために試行錯誤を繰り返し、子どもたちがシャボン玉作りに熱中する素晴らしい授業でした。授業後、杉浦先生から「若いのに落ち着いていて、細やかな配慮がされている授業で感心しました」とおほめの言葉をいただきました。その後、「学習集団を伸張させる『ほめ方』」と題した講義を杉浦先生にさせていただき、充実した現職教育となりました。

新美先生の授業をつくるために、校内の先生たちが話し合っている姿を何度も見ました。1年生の先生たちは、1組・3組が先行して授業を行い、その反省を2組の授業に生かそうと努めていました。そのため、大きな針金にひもを巻いて大きなシャボン玉ができるものを準備したり、うちわの紙をはがして一度にいっぱいシャボン玉ができるものを準備したり、洗面器やたらいなどシャボン玉の液がつけやすいように工夫がしてあったり、子どもに害のないシャボン玉液だったり、子どもたちの活動を支えるための工夫がふんだんにしてありました。そのため、子どもたちは屋外で歓声を上げながら思い思いのシャボン玉作りを楽しむことができました。一人の授業にたくさんの人が関わり、知恵を出し合い、その授業を通してみんなが学ぼうとしている姿に心打たれました。亀崎小の職員集団のパワーを感じ、この上なくうれしく思いました。このエネルギーを絶やしてはいけないと思っています。

7月8日 朝会 校長の話より「礼儀正しい人になってほしい」

私は、みなさんに礼儀正しい人になってほしいと思っています。それは、礼儀正しい人は、心が強い人だと思っているからです。苦しいとき、あきらめてしまいそうなとき、さぼってしまいたいとき、踏ん張れる強い心は礼儀正しさから生まれると思っています。中学校で15年間勤め、サッカー部の顧問も続けてきた経験からそう思っています。それでは、礼儀正しさとは、どういうことでしょうか。それは三つです。何かしてもらったときに「お願いします」と言えること、何かしてもらったときに「ありがとうございます」と言えること、そして挨拶をすることです。このことができる人は、強い心の持ち主に成長していきます。サッカーの試合で、暑くて苦しいとき、最後ががんばりがきく選手は、礼儀正しい人でした。勉強で苦手なところでも何とかしようと粘り強く取り組む人は、礼儀正しい人でした。つらそうな友達がいたとき、優しく寄り添ってくれる人は、礼儀正しい人でした。礼儀正しい人は、自分の可能性を広げ、周りから信頼され、よい友達に巡り会い、幸せになれると思っています。みなさんにも幸せになってほしいと願っています。だから、礼儀正しい人になってほしいと思っているのです。担任の先生に礼儀正しく接していますか。習い事のコーチや先生に「お願いします」「ありがとうございます」、そして挨拶が言えていますか。高学年で、敬語というものを習うでしょう。敬語も使えていますか。お父さん、お母さんに礼儀正しく接していますか。みなさんが礼儀正しい人に成長していけるように、私も接していきたいと思っています。「お願いします」「ありがとうございます」そして挨拶がきちんと言える人になり、幸せな人生を歩んでほしいと願っています。

表彰の記録

- 令和元年度東浦町スポーツ祭柔道大会
 - 小学5・6年の部 優勝 高橋 勇吏
 - 小学3・4年の部 優勝 山本 敬互
 - 小学1・2年の部 3位 山本 将互
- 令和元年度半田市民スポーツ大会水泳大会
 - 小学生高学年の部 50m自由形女子 優勝 長嶋 心咲 (6年)
 - 小学生中学年の部 50m自由形女子 優勝 間瀬 日葵 (4年)
- 日清食品カップ第35回全国小学生陸上競技交流大会 愛知県予選会
 - 小学4年女子ジャベリックボール投 2位 秋田 陽彩
- 第4回ジュニア空手道リアルチャンピオンシップ中部選抜大会
 - 小学5年男子の部 95kg未満 準優勝 佐藤 大樹
- 第14回亀崎潮干祭絵画コンテスト

最優秀賞 (文部科学大臣表彰)	橋本大士朗	(6年)	
愛知県知事賞	加藤 自由	(5年)	
愛知県議会議長賞	間瀬 珠理	(5年)	
半田市長賞	成田 吉輝	(6年)	
半田市議会議長賞	正木己太郎	(6年)	
半田市教育委員会賞	間瀬 将望	(4年)	
半田市商工会議所会頭賞	影山 莉沙	(2年)	
半田山車祭り保存会会長賞	新美 紀陽	(2年)	
中日新聞社賞	成田 吉勲	(4年)	
愛知県神社庁長賞	秋田 陽彩	(4年)	
神前神社賞	中野 伶	(6年)	
亀崎コミュニティ推進協議会会長賞	牧野 令依	(6年)	
亀崎潮干祭保存会会長賞	間瀬 來煌	(3年)	
入 選	間瀬 友悟 (1年)	岩本 姫衣 (2年)	木下 創太 (2年)
	高須 世羅 (3年)	間瀬志央梨 (4年)	近藤 惇樹 (5年)
	船橋沙耶香 (5年)	足立 瑚々 (5年)	長嶋 心咲 (6年)
	牧 風香 (6年)		

♣ 子育てアラカルト ♣

[心に刻む言葉]

三日坊主は、何もしないより三日も偉いじゃないか (河合隼雄氏の著書より)

我々は、三日坊主という飽きっぽくて長続きしないマイナスのイメージがある。だが、「千里の道も一歩から」と言うのではないか。続かないからと言って、はじめからやらないのでは話にならない。まず三日やってみる。どんな人でも三日くらいは続くだろう。三日たったらそこで思い切って一日休むのだ。そして、また三日続ける。それを繰り返すと、1年365日のうちに、なんと270日以上も実行したことになるのだ。「ちりも積もれば山となる」とはまさにこのことだ。一日休むことが続けるコツなのだ。これを「継続力」と言う。

ところが世の大人は往々にして全力投球しないのは人間としてだめだ」と言う思い込みがある。その思い込みが人と人との間に軋轢を生み、人間関係の悪化を招き、その人の成長を妨げることもある。

[心に刻む言葉]

- ・ どんないいことでも、やり過ぎは有害！長く続けるためにはゆっくり行くことだ
 - ・ やらなかつた後悔よりも、やった後悔 (梅乃宿酒造社長 吉田佳代)
- (ある教育者のひとり言 より)